

Dell U2718Q モニター ユーザーズ ガイド

モデル : U2718Q
規定モデル : U2718Qb



注、注意および警告



注：「注」は、コンピューターをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。



注意：「注意」は指示に従わなければ、ハードウェアが故障する危険性、またはデータが消失する危険性を示しています。



警告：「警告」は物件損害、人的被害または死亡の危険性を表します。

著作権 © 2017 Dell Inc. 複製を禁ず。

本製品は、米国および国際著作権および知的所有権により保護されています。Dell™ および Dell ロゴは米国およびその他の司法管轄区における Dell Inc. の商標です。本書に記載されるその他の記号および商品名は、各社の商標です。

目次

製品の特徴	5
パッケージの内容	5
製品の特長	7
部品とコントロールの確認	8
モニター仕様	12
プラグアンドプレイ機能	21
ユニバーサル シリアルバス (USB) インターフェース	21
LCD モニター品質とピクセルポリシー	22
保守のガイドライン	23
モニターのセットアップ	24
スタンドを取り付ける	24
モニターを接続する	27
ケーブルを調整する	29
モニタースタンドを取り外す	29
壁取り付け (別売り)	30
モニターの操作	31
モニターを電源オンにする	31
正面パネルのコントロールを使う	31


オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用	33
最大解像度を設定する	44
傾け、旋回させ、垂直に伸ばす	45
モニターの回転	46
システムのディスプレイ回転設定の調整	47
問題を解決する	49
自己テスト	49
内蔵診断	50
よくある問題	51
製品特有の問題	53
ユニバーサル シリアルバス (USB) 特有の問題	53
スピーカー特有の問題	54
付録	55
米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその 他規制に関する情報	55
Dell へのお問い合わせ	55

製品の特徴

パッケージの内容

モニターには、以下に示すコンポーネントがすべて付属しています。コンポーネントがすべて揃っているかを確認し、コンポーネントが足りないときは [Dell へのお問い合わせ](#)。

- 注：一部のアイテムはオプションで、モニターに付属していません。機能またはメディアには、特定の国で使用できないものもあります。
- 注：その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。

	モニター
	スタンドライザ

	<p>スタンドベース</p>
	<p>電源ケーブル（国により異なります）</p>
	<p>DP ケーブル（Mini-DP から DP）</p>
	<p>USB 3.0 アップストリームケーブル（モニターの USB ポートを有効にします）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> • ドライバとマニュアルメディア • クイック セットアップガイド • 出荷時較正レポート • 安全、環境および規制情報

製品の特長

Dell U2718Q フラットパネル ディスプレイにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスタ (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD) および LED バックライトが搭載されています。モニターの機能は、以下のようになっています：

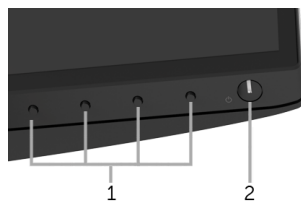
- 68.47 cm (27 インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。3840 x 2160 (16:9) 解像度、低解像度の場合全画面もサポートしています。
- 広い角度を表示することにより、座った位置からでも、立った位置からでも見ることが出来ます。
- チルト、旋回、垂直引き伸ばし、回転調整機能。
- マルチ モニター使用時に美しさを損なわないように、溝を非常に薄くすることで溝のギャップをできるだけ小さくしています。
- 取り外し可能なスタンドと VESA™ (ビデオエレクトロニクス規格協会) 100 mm 取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- システムでサポートされている場合、プラグ アンド プレイ機能。
- 平均 Delta E が 2 以下の 99.9% sRGB の色域。
- HDR は HDMI 2.0a と互換性があります。
- DP、mDP、HDMI、USB3.0 によるすべてのデジタル接続機能が、今もそしてこれからもモニターの性能を保証。
- オンスクリーン ディスプレイ (OSD) 調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ソフトウェアとマニュアルメディアには、情報ファイル (INF)、画像カラーマッチングファイル (ICM)、および製品マニュアルが含まれています。
- Dell Display Manager ソフトウェア付属 (モニターに付属の CD に同梱されています)。
- セキュリティ ロック スロット。
- スタンドロック。
- スリープモード時には 0.3 W スタンバイ電源になります。
- ちらつき防止スクリーンで目の疲れを軽減します。



注：モニターから放出されるブルーライトを長時間見続けると、眼精疲労を含め、目に影響を与えます。モニターが放出するブルーライトの量を低減するために、ComfortView 機能が搭載されています。

部品とコントロールの確認

正面図



前面パネルのコントロール

ラベル	説明
1	機能ボタン（詳細は、 モニターの操作 を参照してください）
2	電源オン/オフ ボタン（LED インジケーター付き）

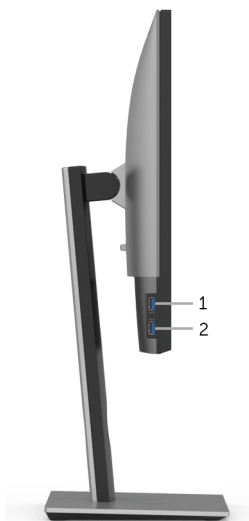
背面図



背面図（モニターのスタンド付き）

ラベル	説明	使用
1	VESA 取り付け穴 (100 mm x 100 mm - 接続された VESA カバーの背面)	VESA 互換の壁取付キットを使う壁取付モニター (100 mm x 100 mm)。
2	規制ラベル	規制承認を表示します。
3	スタンドリリースボタン	スタンドをモニターから外します。
4	セキュリティ ロックス ロット	セキュリティ ロックでモニターを固定します (セキュリティ ロックは含まれません)。
5	バーコード シリアル番号 ラベル	技術サポートを受けるには、Dell にお問い合わせ ください。
6	ケーブル管理スロット	ケーブルをスロットに通してケーブル類を整理す るために使います。

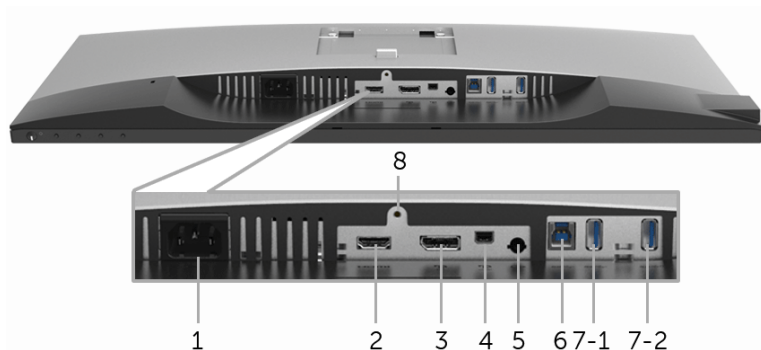
側面図



ラベル	説明	使用
1	USB ダウンストリームポート	USB デバイスを接続してください。このコネクタは、USB ケーブルをコンピューターと、モニターの USB アップストリーム ケーブルに接続した後にのみ利用できます。*
2	充電機能付き USB ダウンストリームポート	デバイスを充電します。

* 信号障害を防止するために、ワイヤレス USB デバイスを USB ダウンストリームポートに接続しているときには、他の USB デバイスを隣のポートに繋ぐことはお勧めしません。

底面図



モニタースタンドなし底面図

ラベル	説明	使用
1	AC 電源コードコネクタ	電源ケーブルを接続してください。
2	HDMI ポートコネクタ	コンピューターに HDMI ケーブルを接続してください。
3	DisplayPort インコネクタ	コンピューターに DP ケーブルを接続してください。
4	Mini DisplayPort インコネクタ	Mini-DP 対 DP ケーブルでコンピューターを接続してください。
5	オーディオ出力	スピーカーを接続してください*。
6	USB アップストリームポート	モニターに付いてきた USB ケーブルをモニターとコンピューターに接続してください。接続すると、モニターにある USB 接続を使用できます。
7-1	USB ダウンストリームポート	USB デバイスを接続してください。このコネクタは、USB ケーブルをコンピューターと、モニターの USB アップストリームコネクタに接続した後にのみ利用できます。**
7-2	充電機能付き USB ダウンストリームポート	デバイスを充電します。
8	スタンドのロック機能	M3 x 6 mm ネジを使ってスタンドをモニターにロックする（ネジは含まれていません）。

* オーディオ出力コネクタでは、ヘッドフォンを使用することはできません。

** 信号障害を防止するために、ワイヤレス USB デバイスを USB ダウンストリーム ポートに接続しているときには、他の USB デバイスを隣のポートに繋ぐことはお勧めしません。

モニター仕様

フラットパネル仕様

モデル	U2718Q
スクリーンタイプ	有効マトリックス - TFT LCD
パネルテクノロジー	In Plane Switching タイプ
アスペクト比	16:9
表示可能画像	
対角	684.7 mm (27 インチ)
水平、アクティブエリア	596.74 mm (23.49 インチ)
垂直、アクティブエリア	335.66 mm (13.21 インチ)
エリア	200301.7 mm ² (310.47 インチ ²)
ピクセル ピッチ	0.1554 mm x 0.1554 mm
ピクセル / インチ	163
表示角度	178° (垂直) 標準 178° (水平) 標準
ルミナンス出力	350 cd/m ² (標準)
コントラスト比	1300 対 1 (標準)
面板コーティング	ハードコーティング 3H での抗グレア
バックライト	LED エッジライト方式
応答時間	8 ms (標準) / 5 ms (高速)
色の深さ	10.7 億色
色域 *	99.9% sRGB、99.9% Rec 709、80.7% DCI-P3
キャリブレーション精度	Delta E ≤ 2 (平均)
内蔵デバイス	<ul style="list-style-type: none">• USB 3.0 超高速ハブ (1 x USB 3.0 アップストリームポート付)• 4 x USB 3.0 ダウンストリームポート

接続性	<ul style="list-style-type: none"> • 1 x HDMI 2.0 (HDCP 2.2) • 1 x DP 1.2 (HDCP 2.2) • 1 x mDP (HDCP 2.2) • 1 x オーディオ出力ポート • 1 x USB 3.0 アップストリームポート • 4 x USB 3.0 ダウンストリームポート (2 x BC1.2 含む)
境界幅 (モニターの端からアクティブエリアまで)	7.3 mm (上 / 左 / 右) 9.0 mm (下)
調整	
高さ調整スタンド チルト 旋回 ピボット	0 から 130 mm -5° ~ 21° -45° ~ 45° -90° ~ 90°
Dell Display Manager (DDM) 対応	簡単配列とその他の主要機能
セキュリティ	セキュリティ ロックスロット (ケーブルロックは別売りです)

* パネルネイティブ専用, カスタムモードのプリセットにて設定。

解像度仕様

モデル	U2718Q
水平走査幅	10 kHz ~ 137 kHz (自動)
垂直走査幅	49 Hz ~ 86 Hz (自動)
事前設定の最高解像度	60 Hz で 3840 x 2160

ビデオのサポートモード

モデル	U2718Q
ビデオディスプレイ機能 (HDMI & DP 再生)	480p、480i、576p、576i、720p、1080i、1080p、QHD、UHD

事前設定ディスプレイモード

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	周波数 (MHz)	同期極 (水平 / 垂直)
VESA, 640 x 400	31.5	70.1	25.2	+/-
VESA, 640 x 480	31.5	59.9	25.2	-/-
VESA, 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA, 720 x 400	31.5	70.1	28.3	-/+
VESA, 800 x 600	37.9	60.3	40.0	+/+
VESA, 800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA, 1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA, 1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA, 1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 800 - R	49.3	59.9	71.0	+/-
VESA, 1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA, 1600 x 1200	75.0	60.0	162.0	+/+
VESA, 1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+
VESA, 2048 x 1280 - R	78.9	59.9	174.3	+/-
VESA, 2560 x 1440	88.8	60.0	241.5	+/-
VESA, 3840 x 2160 - R*	133.3	60.0	533.3	+/-

* グラフィックカードが HDMI 2.0 に対応していなければなりません。

電氣的仕様

モデル	U2718Q
ビデオ入力信号	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI 2.0、各差動線路毎に 600 mV、作動ペアあたり 100 ohm 入カインピーダンス • DisplayPort & Mini DisplayPort 1.2、各差動線路毎に 600 mV、作動ペアあたり 100 ohm 入カインピーダンス
AC 入力電圧 / 周波数 / 電流	100 VAC から 240 VAC / 50 Hz または 60 Hz \pm 3 Hz / 1.5 A (標準)
インラッシュ電流	<ul style="list-style-type: none"> • 120 V : 30 A (最大) (0°C で) (コールドスタート) • 220 V : 60 A (最大) (0°C で) (コールドスタート)

物理特性

モデル	U2718Q
信号ケーブルタイプ	<ul style="list-style-type: none">• デジタル：取り外し可能、HDMI、19 ピン（ケーブルは含まず）• デジタル：取り外し可能、Mini-DP 対 DP、20 ピン• Universal Serial Bus: 取り外し可能、USB、9 ピン
寸法（スタンド付き）	
最高（引き伸ばし時）	540.2 mm (21.27 インチ)
最高（圧縮）	410.2 mm (16.15 インチ)
幅	611.3 mm (24.07 インチ)
奥行き	200.3 mm (7.89 インチ)
寸法（スタンドなし）	
高さ	356.2 mm (14.02 インチ)
幅	611.3 mm (24.07 インチ)
奥行き	49.1 mm (1.93 インチ)
スタンド寸法	
最高（引き伸ばし時）	433.4 mm (17.06 インチ)
最高（圧縮）	387.2 mm (15.24 インチ)
幅	292.4 mm (11.51 インチ)
奥行き	200.3 mm (7.89 インチ)
重量	
重さ（パッケージ含む）	9.40 kg (20.72 lb)
重さ（スタンドアセンブリとケーブルを含む）	6.55 kg (14.44 lb)
重さ（スタンドアセンブリなし）（壁取付または VESA 取付用 - ケーブルなし）	3.70 kg (8.16 lb)
スタンドアセンブリの重さ	2.53 kg (5.58 lb)

環境特性

モデル	U2718Q
準拠規格	
<ul style="list-style-type: none">ENERGY STAR 認証モニター。米国にて EPEAT 金登録。EPEAT 登録は国ごとに異なります。国別の登録状況については、www.epeat.net をご覧ください。RoHS 準拠。TCO 認証ディスプレイ。外付けケーブルを除き BFR/PVC が含まれていません（ハロゲンを含まない）。NFPA 99 リーク電流基準に一致。パネルのみ無ヒ素ガラスかつ無水銀です。	
温度	
運転時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
非運転時	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
湿度	
運転時	10% ~ 80% (結露しないこと)
非運転時	5% ~ 90% (結露しないこと)
高度	
運転時	5,000 m (16,404 ft) (最大)
非運転時	12,192 m (40,000 ft) (最大)
熱発散	<ul style="list-style-type: none">337.79 BTU/ 時 (最大)102.36 BTU/ 時 (標準)

電源管理モード

VESA DPM™ 準拠ディスプレイカードまたは PC 上でインストールしたソフトウェアを使った場合、モニターは、未使用時に、自動的に電源消費の省力行を行います。これを、「省電力モード*」と呼びます。コンピューターがキーボード、マウス、またはその他の入力デバイスから入力を検出すると、モニターは自動的に機能を再開します。次の表は、この自動省電力機能の電源消費と信号を表したものです。


VESA モード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケーター	電源消費
通常運転	有効	有効	有効	白色	99 W (最大) ** 30 W (標準)
無効モード	無効	無効	空白	白色 (点滅)	0.3 W 以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	0.3 W 以下

Energy Star	電源消費
P _{On}	24.32 W
E _{TEC}	76.39 kWh

OSD は、通常の動作モードでのみ機能します。無効モードでどれかのボタンを押すと、次のメッセージが表示されます。



コンピューターがアクティブになり、モニターで OSD にアクセスできるようになります。

 **注：**接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。

 **注：**本モニターは ENERGY STAR® に準拠しています。



 **注：**

P_{On}：オン モードの電源消費は、Energy Star 7.0 バージョンで定義されているとおりです。

E_{TEC}：合計電力消費量 (kWh) は、Energy Star 7.0 バージョンで定義されているとおりです。

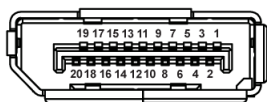
* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

** 最大消費電力は最大輝度および USB と積極的な測定され。

本書は参考用に提供するものであり、試験室での性能を基に作成されています。お客様の製品は、お使いになるソフトウェア、コンポーネント、周辺機器により異なり、本書の情報と必ずしも一致しない場合があります。したがって、この情報を基に裕度を決定することはお止めください。精度や完成度について一切保障いたしません。

ピン割当

DisplayPort コネクタ



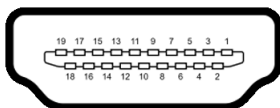
ピン数	接続した信号ケーブルの 20ピン側
1	ML0(p)
2	GND
3	ML0(n)
4	ML1(p)
5	GND
6	ML1(n)
7	ML2(p)
8	GND
9	ML2(n)
10	ML3(p)
11	GND
12	ML3(n)
13	GND
14	EDID WP
15	AUX(p)
16	GND
17	AUX(n)
18	ホットプラグ検出
19	Re-PWR
20	+3.3 V DP_PWR

Mini DisplayPort コネクター



ピン数	接続した信号ケーブルの 20ピン側
1	GND
2	ホットプラグ検出
3	ML3(n)
4	GND
5	ML3(p)
6	GND
7	GND
8	GND
9	ML2(n)
10	ML0(n)
11	ML2(p)
12	ML0(p)
13	GND
14	GND
15	ML1(n)
16	AUX(p)
17	ML1(p)
18	AUX(n)
19	GND
20	+3.3 V DP_PWR

HDMI コネクタ




ピン数	接続した信号ケーブルの 19 ピン側
1	TMDS データ 2+
2	TMDS データ 2 シールド
3	TMDS データ 2-
4	TMDS データ 1+
5	TMDS データ 1 シールド
6	TMDS データ 1-
7	TMDS データ 0+
8	TMDS データ 0 シールド
9	TMDS データ 0-
10	TMDS クロック +
11	TMDS クロックシールド
12	TMDS クロック -
13	CEC
14	予約済み (デバイスの N.C.)
15	DDC クロック信号 (SCL)
16	DDC データ (SDA)
17	DDC/CEC 接地
18	+5V 電源
19	ホットプラグ検出

プラグアンドプレイ機能


プラグアンドプレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ データ チャンネル (DDC) プロトコルを使って、コンピューターシステムに拡張ディスプレイ特定データ (EDID) を自動的に提供するため、システムが、自己設定により、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニターインストールは自動で行われます。必要に応じて異なる設定を選択できます。モニター設定の変更の詳細については、[モニターの操作](#)を参照してください。

ユニバーサル シリアル バス (USB) インターフェース

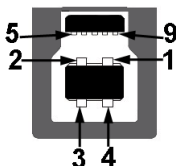
本項では、モニターで使用できる USB ポートについて説明します。

 **注：**このモニターは超高速 USB 3.0 互換です。

転送速度	データ率	電源消費*
超高速	5 Gbps	4.5 W (最大、各ポート)
高速	480 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)
全速度	12 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)

* BC1.2 準拠デバイスまたは標準の USB デバイスの USB ダウンストリームポート (SS  電池アイコンの付いたポート) で最大 2A。

USB アップストリームコネクタ




ピン数	9 ピン (コネクタの側面に表示)
1	VCC
2	D-
3	D+
4	GND
5	SSTX-
6	SSTX+
7	GND
8	SSRX-
9	SSRX+

USB ダウンストリームコネクタ



ピン数	9 ピン (コネクタの側面に表示)
1	VCC
2	D-
3	D+
4	GND
5	SSRX-
6	SSRX+
7	GND
8	SSTX-
9	SSTX+

USB ポート

- 1 x USB 3.0 アップストリーム - 底面
- 2 x USB 3.0 ダウンストリーム - 底面
- 2 x USB 3.0 ダウンストリーム - 側面
- 充電ポート -  電池アイコンが示されたポート。BC1.2 互換機器使用時に高速充電に対応。



注：USB 3.0 機能には USB 3.0 対応のコンピューターが必要です。



注：モニターの USB インターフェイスは、モニターがオンのとき、または省電力モードに入っているときにのみ作動します。モニターをオフにしてから再びオンにすると、接続された周辺機器は数秒後に通常の機能を回復します。

LCD モニター品質とピクセルポリシー

LCD モニターの製造プロセスにおいて、いくつかのピクセルが特定の状態に固定されることはよくあります。見つけにくく、表示品質および使い勝手に影響しません。Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (<http://www.dell.com/support/monitors>) を参照してください。

保守のガイドライン

モニターを洗淨する



注意：モニターの洗淨前には、**安全指示**を読み、その指示に従ってください。



警告：モニターの洗淨前には、**電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください。**

最高の性能を引き出すために、モニターを開梱、洗淨、または操作している間、以下のリストの指示に従ってください：

- 静電気防止スクリーンを洗淨するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン洗淨ティッシュまたは静電気防止コーティングに適して溶液を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
- めるま湯で軽く湿らせた布を使用して、モニターを洗淨します。合成洗剤によりモニターの乳白色のフィルムがはがれることがあるため、合成洗剤の使用は避けてください。
- モニターの梱包を開けている間に白いパウダーにお気づきになりましたら、布で拭き取ってください。
- 暗いプラスチックは、明るいモニターより白いカフマークを削り、表示するため、モニターの取り扱いには注意してください。
- モニターの画像品質を最高の状態に保つために、スクリーンセーバーを作動し、使用しないときはモニターの電源をオフにしてください。

モニターのセットアップ

スタンドを取り付ける



注：モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外します。



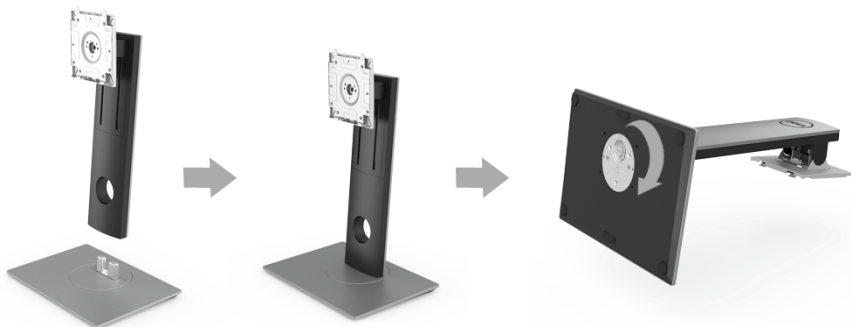
注：これはスタンド付モニターに適用されます。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。



注意：スタンドを付けるまでは、パッケージからモニターを取り出さないでください。

モニタースタンドを取り付けるには：

- 1 箱のふた部分に記載された指示に従って、スタンドを保護しているクッション材を取り外してください。
- 2 スタンドベースの突起部分がスタンドのスロットにしっかり収まるように挿入します。
- 3 ネジ用ハンドルを持ち上げて、右に回します。
- 4 ネジをしっかりと締めたら、ネジ用ハンドルを元の位置に戻してください。



5 図に示すとおり、カバーを開けるとスタンドアセンブリの VESA 部分が現れます。



6 スタンドアセンブリをモニターに取り付けます。

- a モニター背面の溝をスタンド上部の 2 つのタブに合わせます。
- b スタンドを押しして、はめ込んでください。



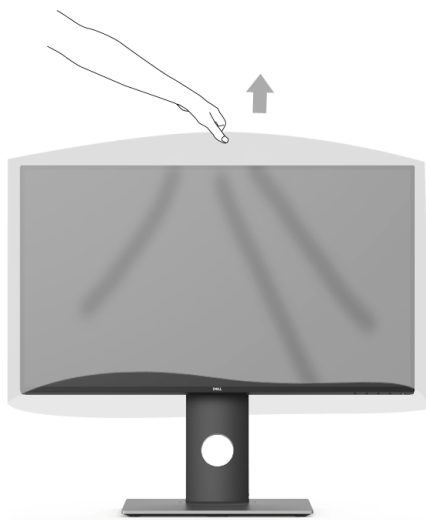
7 モニターをまっすぐに設置します。

- a 下側のクッションに切り込み口に片手を差し込み、もう片方の手でスタンドをつかみます。
- b モニターが滑ったり、落ちたりしないように、そっと持ち上げてください。



△ 注意：モニターを持ち上げるときには、パネルスクリーンを強く押さないようにしてください。



8 モニターからカバーを外します。



モニターを接続する

-  **警告：** このセクションで手続きをはじめの前に、**安全指示**に従ってください。
-  **注：** すべてのケーブルを同時にコンピューターに接続しないでください。

モニターをコンピューターに接続する：

- 1 コンピューターの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。
モニター DP/Mini-DP 対 DP/HDMI ケーブルをユーザーのコンピューターにつなぎます。

HDMI ケーブルを接続する（別売り）



DisplayPort（Mini-DP 対 DP）ケーブルを接続する



DisplayPort（DP 対 DP）ケーブルを接続する（別売り）



△ 注意：画像は、実例を示す目的で使用されます。コンピューターの外観は変わることがあります。

USB 3.0 ケーブルを接続する

DP/Mini-DP 対 DP/HDMI ケーブルに完全に接続したら、以下の手順に従って USB 3.0 ケーブルをコンピューターに接続し、モニターのセットアップを完了してください：

- 1 アップストリーム USB 3.0 ケーブル（付属のケーブル）をモニターのアップストリームポートに、次にコンピューターの適切な USB 3.0 ポートに接続します
- 2 USB 3.0 周辺機器をモニターのダウンストリーム USB 3.0 ポートに接続します。
- 3 コンピューターとモニターの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。



- 4 モニターおよびコンピューターの電源をオンにします。
モニターに画像が表示されたら、インストールは完了します。画像が表示されない場合は、[ユニバーサル シリアルバス \(USB\) 特有の問題](#)を参照してください。
- 5 モニタースタンドのケーブルホルダーを使ってケーブルを整理してください。

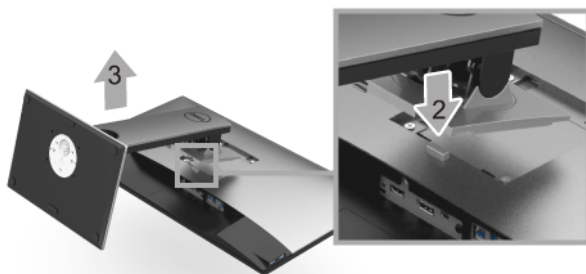
ケーブルを調整する



モニターおよびコンピューターに必要なケーブルすべてを取り付けた後、(ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#)を参照してください) 上記のとおり、ケーブル管理スロットを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

モニタースタンドを取り外す

- 注：台を取り外している間に LCD 画面に傷が付かないように、モニターは必ずきれいな面に置くようにしてください。
- 注：これはスタンド付モニターに適用されます。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。



スタンドを取り外すには：

- 1 柔らかい布またはクッションの上にモニターを置きます。
- 2 スタンドリリース ボタンを押し下げます。
- 3 スタンドを持ち上げ、モニターから離します。


壁取り付け（別売り）



（ネジの寸法：M4 x 10 mm）。

VESA 互換壁取り付けキットに付いている使用説明書を参照してください。

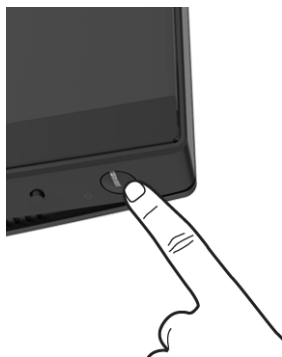
- 1 モニターのパネルを、安定した平らなテーブルの軟らかい布またはクッションの上に置きます。
- 2 スタンドを外します。
- 3 プラスドライバーを使って、プラスチックカバーを固定している4つのネジを外します。
- 4 壁取り付けキットのブラケットをモニターに取り付けます。
- 5 壁取り付けキットに付いている使用説明書に従って、壁にモニターを取り付けます。

 **注：**3.70 kg の最小重量 / 負荷支持強度を持つ UL 指定の壁取り付けブラケットでのみ使用できます。

モニターの操作

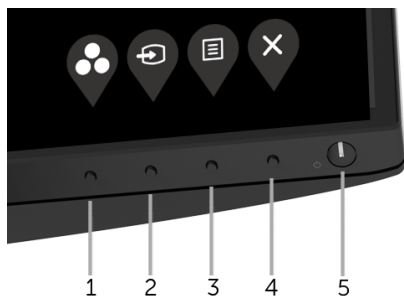
モニターを電源オンにする

🔌 ボタンを押してモニターをオンにします。








正面パネルのコントロールを使う

正面パネルのコントロールボタンを使用すると、モニターを制御するための主要なソフトウェア機能に簡単にアクセスできます。



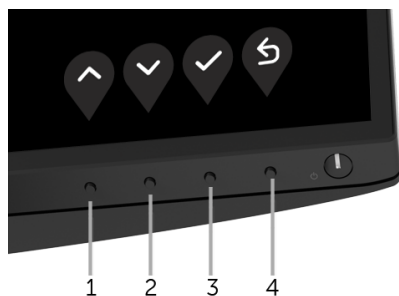
正面パネルのボタンについては、次の表にまとめてあります：



正面パネルボタン	説明
1  ショートカットキー / プリセットモード	プリセット カラー モードのリストから選択する際には、このショートカットを選択してください。

2	 ショートカットキー/ 入力信号	このボタンを使って、モニターに接続されているビデオ信号のリストからお選びください。
3	 メニュー	オンスクリーンディスプレイ (OSD) を開くには、メニューボタンを使います。メニューシステムにアクセスするを参照してください。
4	 終了	OSD メインメニューを終了します。
5	 電源 (電源ライトインジケータ付き)	電源ボタンを使ってモニターの電源のオン / オフを切り替えます。 白いライトが点灯しているときには、モニターがオンであることを示しています。濃い白いライトは、省電力モードに入っていることを示しています。

正面パネルボタン

モニターの正面にあるボタンを使って、画像設定を調整してください。



正面パネルボタン	説明
1  上	上ボタンを押すと、OSD メニューのアイテムを調整できます (範囲を広げます)。
2  下	下ボタンを押すと、OSD メニューのアイテムを調整できます (範囲を狭めます)。

- 3 OK ボタンを使って、選択内容を確定します。



OK


- 4 戻るボタンを使用すると、前のメニューに戻ります。




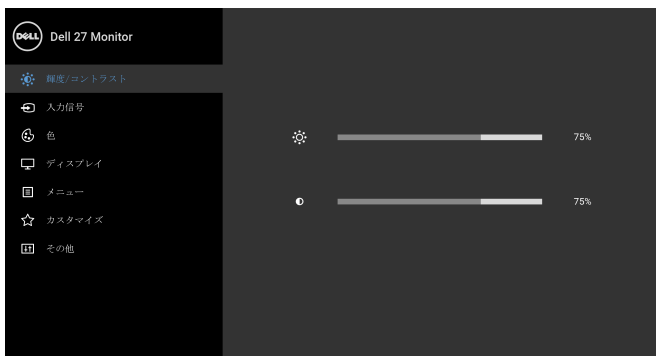
戻る










オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用

メニューシステムにアクセスする

 **注：**設定を変えてから別のメニューに進んだり OSD メニューを終了したりすると、モニターはこれらの変更を自動的に保存します。設定を変更してから OSD メニューが消えるのを待っても、変更は保存されます。

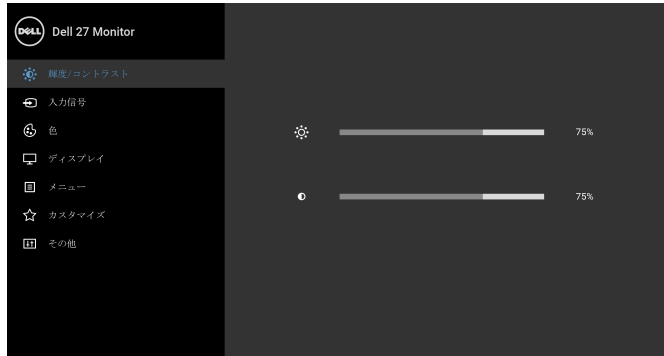
- 1  ボタンを押して OSD メニューを起動し、メインメニューを表示します。



- 2  と  ボタンを押して、設定オプション間を移動します。あるアイコンから別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライト表示されます。モニターで利用できるすべてのオプションについては、次の表を参照してください。
- 3  ボタンを一度押すと、ハイライトされたオプションが有効になります。
- 4  と  ボタンを押して、目的のパラメーターを選択します。
- 5  を押してサブメニューに入り、メニューのインジケーターに従って  と  ボタンを使い変更を行います。
- 6  ボタンを選択してメインメニューに戻ります。



輝度 / コントラスト このメニューを使って**輝度 / コントラスト**調整を有効にします。



輝度

輝度は、バックライトの輝度を調整します。

輝度を上げるには ボタンを押します。輝度を下げるには ボタンを押します（最小 0 / 最大 100）。

注：動的**コントラスト**がオンになっているときには、手動で**輝度**を調整することはできません。

コントラスト

まず**輝度**を調整し、それでも調整が必要な場合のみ**コントラスト**を調整します。

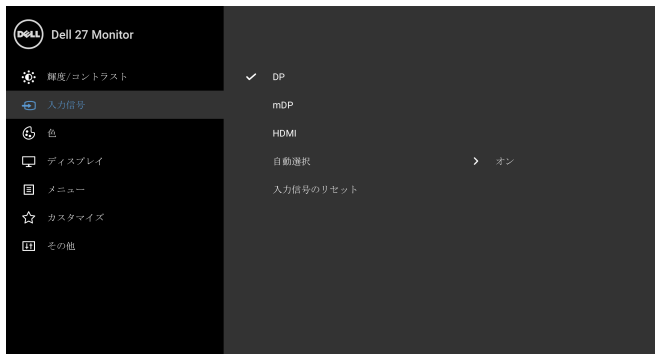
ボタンを押して**コントラスト**を上げ、 ボタンを押して**コントラスト**を下げます（最小 0 / 最大 100）。

コントラスト機能は、モニターの画面の暗い部分と明るい部分の違いの程度を調整します。



入力信号

入力信号メニューを使って、モニターに接続されたさまざまなビデオ信号を選択します。



DP	DisplayPort (DP) コネクタを使用しているとき、 DP 入力を選択します。
mDP	Mini DisplayPort (mDP) コネクタを使用しているとき、 mDP 入力を選択します。
HDMI	HDMI コネクタを使用しているとき、 HDMI 入力を選択します。
自動選択	これをオンにすると、仕様可能な入力信号をスキャンできます。
入力信号のリセット	モニターの入力設定を工場出荷時の設定にリセットします。



色

色を使って色設定モードを調整します。

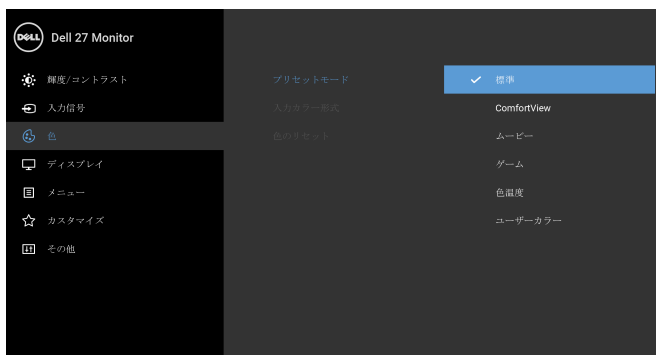


プリセット モード

プリセットモードを選択すると、リストから**標準**、**ComfortView**、**ムービー**、**ゲーム**、**色温度**、**ユーザーカラー**を選択できます。

- **標準**：モニターのデフォルトの色設定をロードします。これは、デフォルトのプリセットモードです。
- **ComfortView**：スクリーンから放射されるブルーライトのレベルを軽減させ、スクリーンを見やすくします。
- **ムービー**：ムービーに適した色設定をロードします。
- **ゲーム**：ほとんどのゲームアプリケーションに適した色設定をロードします。
- **色温度**：次の色温度を選択できます：5000K、5700K、6500K、7500K、9300K、10000K。
- **ユーザーカラー**：R、G、Bの色設定を手動で調整します。

▲と▼ボタンを押してR、G、B値を調整し、独自のプリセット色モードを作成します。



注：長期間モニターを使用することによる目の疲れ、首 / 手首 / 背中 / 肩の痛みを軽減するために、次のことをお勧めします：

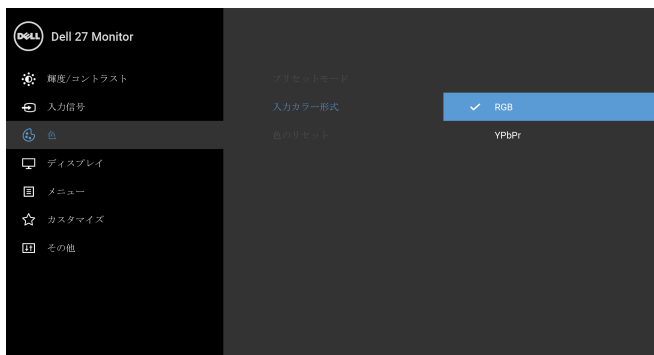
- スクリーンと目の距離を 20 ~ 28 インチ (50 ~ 70 cm) 離してください。
- 瞬きをしたり、目薬などを使用して目のうるおいを保ってください。
- 2 時間おきに 20 分程度の休憩をとってください。
- 休憩ごとにモニターから目を離し、約 20 フィート先にある物を 20 秒以上見つけてください。
- 休憩中にストレッチをして首 / 手首 / 背中 / 肩の凝りをほぐしてください。

入力カラー形式

ビデオ入力モードを次のように設定できます。

RGB : モニターが HDMI ケーブルを使用してコンピューター（または DVD プレーヤー）に接続されている場合は、このオプションを選択します。

YPbPr : DVD プレーヤーが YPbPr 出力しかサポートしていない場合は、このオプションを選択してください。



色相

この機能により、ビデオ画像の色は緑または紫にシフトします。色相は、望ましいフレッシュな色調を調整するために使用されます。

▲ または ▼ を使って色合いを「0」～「100」の範囲で調整します。

▲ を使ってビデオ画像の紫の影を増加します。

▼ を使ってビデオ画像の緑の影を増加します。

注 : 色相調整は、ムービーまたはゲーム プリセット モードでのみ使用できます。

彩度

この機能は、ビデオ画像の色の彩度を調整します。▲ または ▼ を使って彩度を「0」～「100」の範囲で調整します。

▲ を使ってビデオ画像の色鮮やかな外見を増加します。

▼ を使ってビデオ画像のモノクロの外見を増加します。

注 : 彩度調整は、ムービーまたはゲームプリセットモードでのみ使用できます。

色のリセット モニターの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。



ディスプレイ ディスプレイを使って画像を調整します。



アスペクト比 画像の比率は**ワイド 16:9**、**4:3**、**5:4** に設定できます。

シャープネス この機能を使って、画像をよりシャープにまたはソフトにします。
▲ または ▼ を使ってシャープネスを「0」～「100」の範囲で調整します。

動的コントラスト コントラストレベルを高めて、よりシャープで鮮明な画質に仕上げます。
▶ ボタンを押して動的コントラストの「オン」または「オフ」を切り替えます。

注：動的コントラストはゲームまたはムービープリセットモードを選択したときに高コントラストを実現します。

応答時間 応答時間を通常または高速に設定できます。

Smart HDR HDR は High Dynamic Range の略語です。この技術は人間の視覚システムをシミュレートして、従来のイメージング技術よりも広い範囲の明るさを処理できます。大部分が暗いシーンか明るいシーンのどちらかである画像を表示するのに適しています。

注：この機能は、HDMI 信号が検出された場合にのみ使用可能です。モニターが HDR コンテンツを処理している間は、プリセットモード、輝度、動的コントラストは無効になります。フロントパネルのプリセットモードショートカットキーを押すと、次のメッセージが表示されます。



注：HDR モードでピーク輝度は、550 ニトになる可能性があります。
HDR 再生時の実際の値と期間は、動画のコンテンツによって異なります。

画面のリセット

このオプションを選択して、デフォルトのディスプレイ設定を復元します。

メニュー

このオプションを選択して、OSD の言語、メニューが画面に表示されている時間など、OSD の設定を調整します。



言語

OSD ディスプレイを 8 つの言語（英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、日本語）の 1 つに設定する言語オプション。

回転

OSD を 90 度反時計回りに回転します。**ディスプレイ回転**に従って、メニューを調整できます。

透明度

このオプションを選択し、 または ボタンを使ってメニュー透明化を変更します（最小：0 ～最大：100）。

タイマー

ボタンを最後に押してから OSD が有効になっている時間の長さを設定します。

または を使ってスライダを 5 ～ 60 秒まで、1 秒刻みで調整します。

メニューのリセット

すべての OSD 設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。



カスタマイズ



ショートカットキー1/ショートカットキー2 プリセットモード、輝度/コントラスト、入力信号、アスペクト比、Smart HDR、回転の中から機能を選択し、ショートカットキーとして設定することができます。

LED電源ボタン モニターがアクティブなときに、節電のために電源 LED インジケータのオン/オフを設定できます。

USB モニターがスタンバイモードのときに、USB 機能を有効/無効にすることができます。

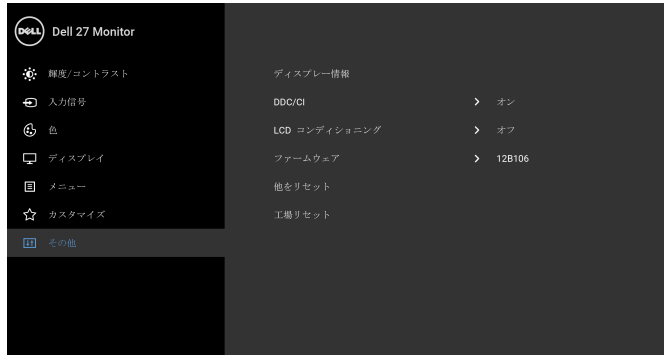
注：スタンバイモードで USB をオン/オフにするには、USB アップストリームケーブルを外す必要があります。USB アップストリームケーブルが接続されているときには、このオプションはグレー表示され使用することができません。

モニタースリープ コンピュータがスリープモードに入ったとき、モニターを自動的にオフにするか、オンのままにしておきます。オンを選択すると、システムがスリープモードに入ると同時にモニターもスリープモードに入ります。オフを選択すると、PC が復帰したときにすぐにモニターも復帰できるように、システムがスリープモードに入ってもスクリーンをオフにしません。

カスタマイズのプリセット カスタマイズメニューですべての設定を初期値に戻します。



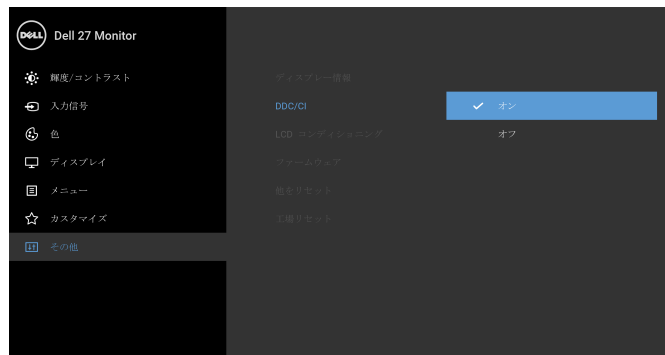
その他



ディスプレイ情報 モニターの現在の設定が表示されます。

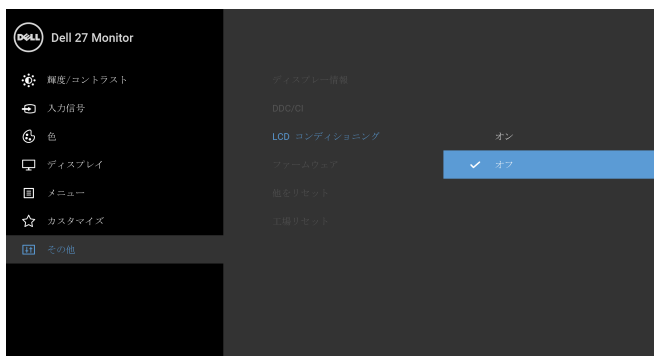
DDC/CI

DDC/CI (ディスプレイ データチャンネル / コマンド インターフェイス) により、コンピューターのソフトウェアを介してモニターのパラメーター (輝度、色バランスなど) を調整します。
オフを選択すると、この機能が無効になります。
ユーザー体験を最大限に高め、モニターのパフォーマンスを最適にする場合、この機能を有効にします。



LCD コンディショニング

画像保持の微細な問題を軽減します。画像保持の程度によっては、プログラムが実行されるまでに少し時間がかかることがあります。**オン**を選択することで、この機能を有効にできます。



ファームウェア 現在のファームウェアバージョンを表示します。

他をリセット その他メニューですべての設定を初期値に戻します。

工場リセット すべての設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。



注：このモニターには自動的に輝度を調整して LED の老朽化を補正する機能が内蔵されています。


OSD 警告メッセージ

動的コントラスト機能が有効に設定されている場合は（ゲームまたはムービーなどのプリセットモード）、手動輝度調整は無効になります。



モニターが特定の解像度モードをサポートしていないとき、次のメッセージが表示されます：



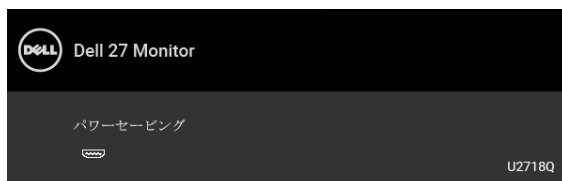
 **注：**接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。

これは、モニターがコンピューターから受信している信号と同期できないことを意味します。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[モニター仕様](#)を参照してください。推奨モードは、3840 x 2160 画素です。


DDC/CI 機能が無効になる前に、次のメッセージが表示されます：



モニターが**省電力**モードに入ると、次のメッセージが表示されます：




コンピューターを有効にして、モニターを立ち上げ、[OSD](#)にアクセスします。

 **注：**接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。


電源ボタン以外のボタンを押すと、選択した入力によって次のメッセージが表示されます：



 **注：**接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。

DP、mDP または HDMI 入力を選択されているが相当するケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。



 **注：**接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。

詳細は、[問題を解決する](#)を参照してください。

最大解像度を設定する

モニターの最大解像度を設定するには：

Windows[®] 7、Windows[®] 8、Windows[®] 8.1：

- 1 Windows[®] 8 および Windows[®] 8.1 専用です。デスクトップ タイルを選択して、元々のデスクトップに切り替えます。
- 2 デスクトップで右クリック、**画面の解像度**をクリックします。
- 3 画面の解像度のドロップダウン リストをクリックし、**3840 x 2160** を選択します。
- 4 **OK** をクリックします。

Windows[®] 10：

- 1 デスクトップ上を右クリックし、**ディスプレイの設定**をクリックします。
- 2 **ディスプレイの詳細設定**をクリックします。
- 3 **解像度**のドロップダウン リストをクリックし、**3840 x 2160** を選択します。
- 4 **適用**をクリックします。

オプションとして 3840 x 2160 がない場合は、グラフィック ドライバを更新する必要があります。コンピューターによっては、以下の手順のいずれかを完了してください：


Dell デスクトップまたはポータブル コンピューターをご使用の場合：

- <http://www.dell.com/support> に移動し、サービス タグを入力したら、グラフィックス カードの最新ドライバをダウンロードしてください。

Dell 以外のコンピューター（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：

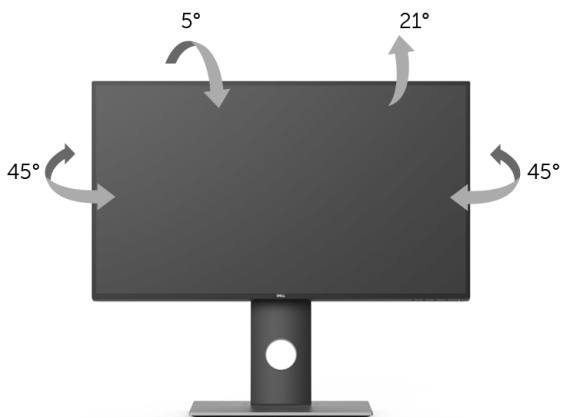
- コンピューターのサポート サイトにアクセスして、最新のグラフィックス ドライバをダウンロードします。
- グラフィックス カード ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス ドライバをダウンロードします。


傾け、旋回させ、垂直に伸ばす

 注：これはスタンド付モニターに適用されます。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。


傾き、旋回

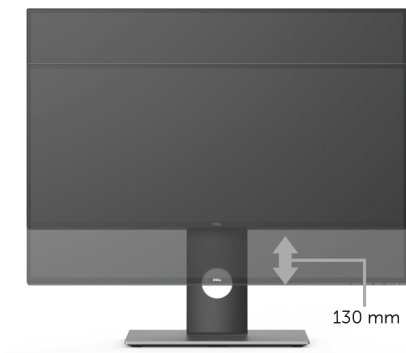
モニターにスタンドを取り付けると、モニターを最も快適な角度に傾斜させたり、向きを変えたりすることができます。



 注：モニターを工場から出荷するときは、スタンドは外された状態になっています。

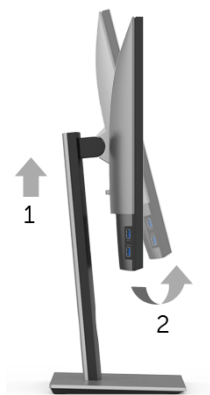
垂直に伸ばす

 注：スタンドは、垂直に最大 130 mm 伸ばせます。下の図で、伸ばし方を示します。



モニターの回転

モニターを回転させる前に、モニターが垂直に拡張している（垂直に伸ばす）か、またはモニターの底部エッジの傾きを避けるために傾けてあるかいずれかになっています。





右回転



左回転




 **注：** Dell コンピューターでディスプレイ回転機能（横対縦表示）を使用するには、このモニターに含まれていない最新のグラフィックスドライバが必要です。最新のグラフィックスドライバをダウンロードして更新するには、www.dell.com/support に移動し、**ビデオドライバのダウンロードセクション**を参照してください。

 **注：** 縦表示モードに入っているとき、グラフィックを大量に使用するアプリケーション（3D ゲームなど）でパフォーマンスが落ちることがあります。

システムのディスプレイ回転設定の調整

モニターを回転させた後、以下の手順でシステムのディスプレイの回転設定を調整する必要があります。

 **注：** Dell コンピューター以外でモニターを使用している場合、グラフィックスドライバのウェブサイトまたはお使いのコンピューターの製造元ウェブサイトに進み、オペレーティングシステムの回転についての情報を確認します。

ディスプレイの回転設定を調整するには：

- 1 デスクトップ上を右クリックした後、**プロパティ**をクリックします。

- 2 **設定タブ**を選択し、**詳細設定**をクリックします。
- 3 ATI グラフィックスカードを使っている場合は、**回転タブ**を選択して、お気に入りの回転を設定します。
- 4 nVidia グラフィックスカードを使っている場合は、**nVidia タブ**をクリックして、左カラムで **NVRotate** を選択し、次にお気に入りの回転を選択します。
- 5 Intel® グラフィックスカードを使っている場合は、**Intel グラフィックスタブ**を選択して、**グラフィックスプロパティ**をクリックし、**回転タブ**を選択し、次にお気に入りの回転を設定します。



注：回転オプションがない場合、または正常に作動しない場合は、www.dell.com/support で、グラフィックスカード用の最新ドライバをダウンロードしてください。

問題を解決する

⚠ 警告： このセクションで手続きをはじめる前に、**安全指示**に従ってください。

自己テスト

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピューターが適切に接続されていて、モニター スクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください：

- 1 コンピューターとモニター両方の電源をオフにする。
- 2 コンピューターの後ろからビデオ ケーブルを外す。
- 3 モニターの電源をオンにする。

モニターがビデオ信号を検知できないが正しく作動している場合、画面に浮動ダイアログボックスが（黒い背景に）表示されます。自己テスト モードでは、電源 LED が白になります。また、選択した入力によって、下に示すダイアログが画面上をスクロールし続けます。




✎ 注： 接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。

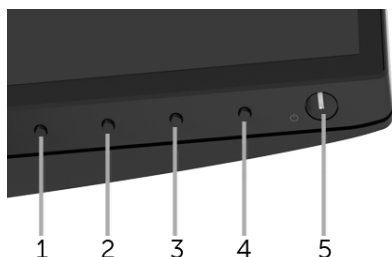
- 4 ビデオ ケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。
- 5 モニターの電源をオフにして、ビデオ ケーブルを再接続し、次にコンピューターとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニター スクリーンに何も表示されない場合、モニターが適切に機能していないため、ビデオ コントローラーおよびコンピューターをチェックしてください。

内蔵診断

モニターには内蔵の診断ツールが付属しており、発生している画面の異常がモニターに固有の問題か、またはコンピューターやビデオカードに固有の問題かを判断します。

 **注：**内蔵の診断は、ビデオケーブルがプラグから抜かれ、モニターが自己テストモードに入っているときのみ、実行できます。



内蔵診断を実行するには、以下の手順に従います：

- 1 画面がきれいであること（または、画面の表面に塵粒がないこと）を確認します。
- 2 コンピューターの後ろからビデオケーブルを外します。モニターが自己テストモードに入ります。
- 3 フロントパネルの**ボタン1**を5秒間押し続けます。グレイの画面が表示されます。
- 4 画面に異常がないか、慎重に検査します。
- 5 正面パネルの**ボタン1**を再び押します。画面の色が赤に変わります。
- 6 ディスプレイに異常がないか、検査します。
- 7 ステップ5と6を繰り返して、緑、青、黒、白い画面、およびテキスト画面についてもディスプレイを検査します。

テキスト画面が表示されると、テストは完了です。終了するには、**ボタン1**を再び押します。

内蔵の診断ツールを使用しているときに画面に異常が検出されない場合、モニターは適切に作動しています。ビデオカードとコンピューターをチェックしてください。

よくある問題

次の表には、発生する可能性のあるモニターのよくある問題と考えられる解決策に関する一般情報が含まれます：

一般的な症状	発生した問題	実行可能な解決策
ビデオなし / 電源 LED オフ	画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターにモニターを接続しているビデオ ケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。• 他の電気機器を使用して、コンセントが正しく機能していることを確認します。• 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。• 入力信号メニューにより適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。
ビデオなし / 電源 LED オン	画像なし、または輝度がない	<ul style="list-style-type: none">• OSD によって、輝度とコントラストコントロールを増加します。• モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。• ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。• 内蔵診断を実行します。• 入力信号メニューにより適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている	<ul style="list-style-type: none">• ビデオ拡張ケーブルを外します。• モニターを工場出荷時設定にリセットします。• ビデオ解像度を正しいアスペクト比に変更します。
ビデオが揺れたり / ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none">• モニターを工場出荷時設定にリセットします。• 環境係数をチェックします。• モニターの場所を変えて、他の部屋でテストします。
ピクセルが抜けている	LCD スクリーンに点が入る	<ul style="list-style-type: none">• サイクル電源オン - オフ。• 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーに固有の欠陥です。• Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (http://www.dell.com/support/monitors) を参照してください。
ドット落ち	LCD スクリーンに明るい点が入る	<ul style="list-style-type: none">• サイクル電源オン - オフ。• 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーに固有の欠陥です。• Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (http://www.dell.com/support/monitors) を参照してください。
輝度の問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none">• モニターを工場出荷時設定にリセットします。• OSD によって、輝度とコントラストコントロールを調整します。

幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● OSD を使用して水平方向と垂直方向のコントロールを調整する。
水平 / 垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テストモードでも入るかどうかを確認します。 ● ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 ● 内蔵診断を実行します。
同期化の問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● モニター自己テスト機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テストモードでも入るかどうかを確認します。 ● ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 ● セーフモードでコンピューターを再起動します。
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none"> ● トラブルシューティング手順を実行しないでください。 ● 直ちに Dell にご連絡ください。
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピューターにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● モニター自己テスト機能チェックを行い、断続的問題が自己テスト・モードでも発生するかどうかを確認します。
色が欠けている	画像の色が欠けている	<ul style="list-style-type: none"> ● モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。 ● コンピューターにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 ● ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
色違い	画像の色が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> ● アプリケーションによって、「色」メニュー OSD の「プリセットモード」の設定を変更します。 ● 「色」メニュー OSD の「ユーザーカラー」で R/G/B 値を調整してください。 ● 「色」メニュー OSD で、「入力カラー形式」を RGB または YPbPr に変更します。 ● 内蔵診断を実行します。
長時間モニターに静止画像を表示したために起こる画像の焼き付き	表示された静止画像のかすかな影が画面に表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用していないとき、電源管理機能を使って、常にモニターの電源をオフにしてください（詳細については、電源管理モードを参照してください）。 ● または、動的に変わるスクリーンセーバーを使用します。

製品特有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	<ul style="list-style-type: none">• 「ディスプレイ」メニュー OSD で、「アスペクト比」設定を確認します。• モニターを工場出荷時設定にリセットします。
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	OSD がスクリーン上に表示されない	<ul style="list-style-type: none">• モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差し、電源を入れます。
ユーザコントロールを押しても入力信号がない	画像が表示されず、LED が白く点灯	<ul style="list-style-type: none">• 信号ソースをチェックします。マウスを動かすかキーボードのどれかのキーを押して、コンピューターが省電力モードに入っていないことを確認します。• 信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうかをチェックします。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。• コンピューターまたはビデオプレーヤーを再起動します。
ピクチャが画面全体に表示されない	ピクチャを画面の高さまたは幅いっぱいに表示できない	<ul style="list-style-type: none">• DVD の異なるビデオ形式により、モニターが全画面で表示できないことがあります。• 内蔵診断を実行します。

ユニバーサル シリアルバス (USB) 特有の問題


特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
USB インターフェースが作動していない	USB 周辺機器が作動していない	<ul style="list-style-type: none">• モニターの電源がオンになっているかを確認します。• アップストリーム ケーブルをコンピューターに再接続します。• USB 周辺機器（ダウストリーム コネクタ）を再接続します。• 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。• コンピューターを再起動します。• 外付けポータブル HDD のような一部の USB デバイスは、高い電流を必要とすることがあります。デバイスをコンピューター システムに直接接続してください。

高速 USB 3.0 インターフェイスが遅い	高速 USB 3.0 周辺機器が遅いか、まったく作動しない	<ul style="list-style-type: none"> • コンピューターが USB 3.0 対応かどうかをチェックします。 • コンピューターの中には、USB 3.0、USB 2.0 と USB 1.1 ポートの両方を搭載しているものもあります。正しい USB ポートを使用されていることを確認してください。 • アップストリーム ケーブルをコンピューターに再接続します。 • USB 周辺機器（ダウンストリーム コネクタ）を再接続します。 • コンピューターを再起動します。
ワイヤレス マウスが作動しない、または反応が遅い	まったく反応しない、または反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> • USB 3.0 周辺機器とワイヤレス USB 受信装置の距離をあげます。 • ワイヤレス USB 受信装置とワイヤレス マウスの距離をできるだけ短くしてください。 • USB 延長ケーブルを使って、ワイヤレス USB 受信装置をできるだけ USB 3.0 ポートから遠ざけてください。

スピーカー特有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
スピーカーから音が聞えない 音が出ない	音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> • モニターの電源を切り、一旦モニターの電源コードを抜いてからもう一度差し込んでください。その後で、再びモニターをオンにします。 • オーディオ ケーブルが正しくコンピューター オーディオ出力ポートに接続されているか確認してください。 • オーディオ出力ポートからオーディオケーブルを外します。 • モニターを工場出荷時設定にリセットします。

警告：安全指示

 **警告：** このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります。


安全についての説明は、安全、環境および規制情報 (SERI) をご覧ください。

米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

Dell へのお問い合わせ

米国のお客様の場合、800-WWW-DELL (800-999-3355) にお電話ください。

 **注：** インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、または Dell 製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dell では、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービス オプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。

- オンライン テクニカルアシスタンス — www.dell.com/support/monitors
- Dell へのお問い合わせ — www.dell.com/contactdell